

地震調査研究推進本部の活動に関するアンケート調査報告書（概要）

平成19年1月31日
地震予知総合研究振興会
地震調査研究センター

1. 経緯

地震調査研究推進本部地震調査委員会では、「全国を概観した地震動予測地図」を平成17年3月に公表した。また、その公表に併せ、政策委員会成果を社会に活かす部会では、「地震調査研究推進本部政策委員会成果を社会に活かす部会報告 ー地震動予測地図を防災対策等に活用していくためにー」（平成17年2月23日）をとりまとめて公表を行うなど、地震調査研究推進本部の成果の広報について検討を行っている。

このたび、その検討に資するために、地震調査研究推進本部がこれまでに行ってきた活動に関する情報の発信について、国民がどのように受けとめているか、またそれらの情報が防災意識にどう結びついているかを調査するため、南海トラフで発生する地震での被害が懸念される名古屋市と、糸魚川ー静岡構造線断層帯で発生する地震での被害が懸念される松本市において市民を対象にアンケート調査を行った。

なお、本調査は(財)地震予知総合研究振興会地震調査研究センターが文部科学省の委託により行った。

本調査全般については、東京大学大学院情報学環廣井脩教授、東洋大学社会学部田中淳教授、同大中村功教授の指導を得て実施した。また、地震予知総合研究振興会内に本調査に関するワーキンググループを設置して、調査票の立案、調査結果の分析等を行った。

2. アンケート調査について

1) 調査方法

①目的

「全国を概観した地震動予測地図（平成17年3月公表）」や活断層等の長期評価結果など地震調査研究推進本部が発信する情報について、国民の印象や地震防災対策への活用の実態等を把握する。

②対象地域

愛知県名古屋市及び長野県松本市（将来強い揺れに見舞われる可能性が相対的に高い地域の中から選定）

③調査手法

訪問面接法

④調査対象

対象地域に居住する 20 歳以上 69 歳以下の男女個人

⑤抽出方法

選挙人名簿による二段階無作為抽出（14 人×25 地点）。

⑥調査期間

平成 18 年 1 月 20 日（金）～1 月 31 日（火）

⑦アンケート調査実施体制

- ・調査実施機関
財団法人地震予知総合研究振興会
- ・現地でのアンケート実施及び結果の集計
株式会社サーベイリサーチセンター

2) 集計結果

①回収数

調査地域	対象数	有効回答数	有効回収数
名古屋市	350 人	215 人	61.4%
松本市	350 人	203 人	58.0%

②集計にあたって

- ・集計は、回答者数を 100%として算出し、小数点第 2 位を四捨五入している。このため、回答率の合計が、単数回答設問でも 100%にならない場合がある。
- ・グラフ中の「n」は基数で、その質問に回答すべき人数を表す。

3. 調査結果のまとめ

以下、調査結果のうち、広報に関係する主要なものについて、掲載する。

1) 長期評価の認知

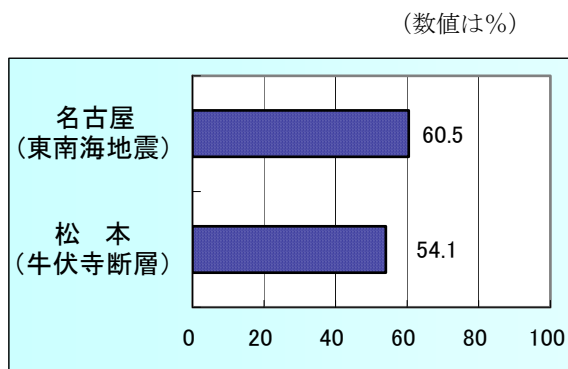


図 3 評価結果発表の認知

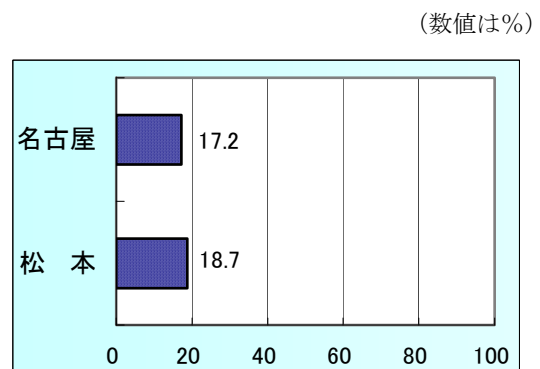


図 4 地震調査推進本部の認知率

(数値は%)

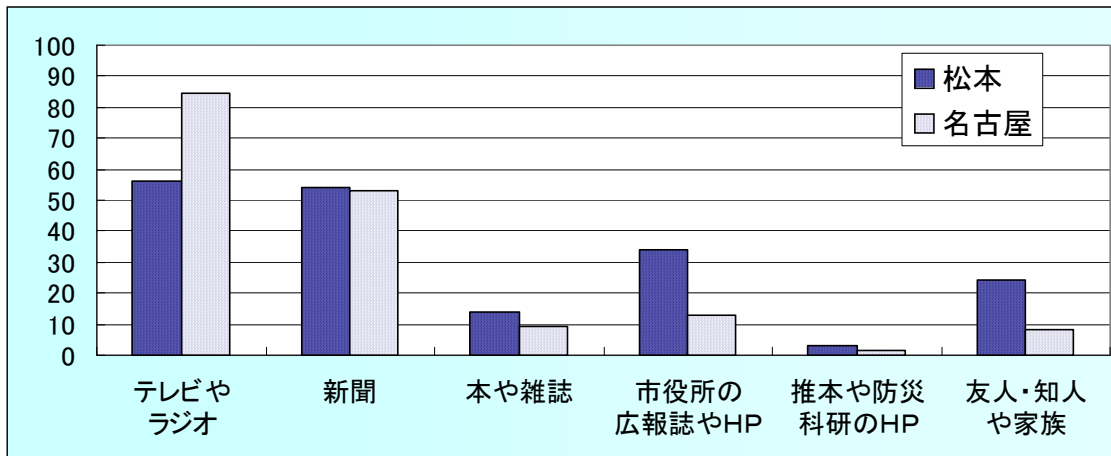


図5 認知経路

2) 発生確率発表の効果

(数値は%)

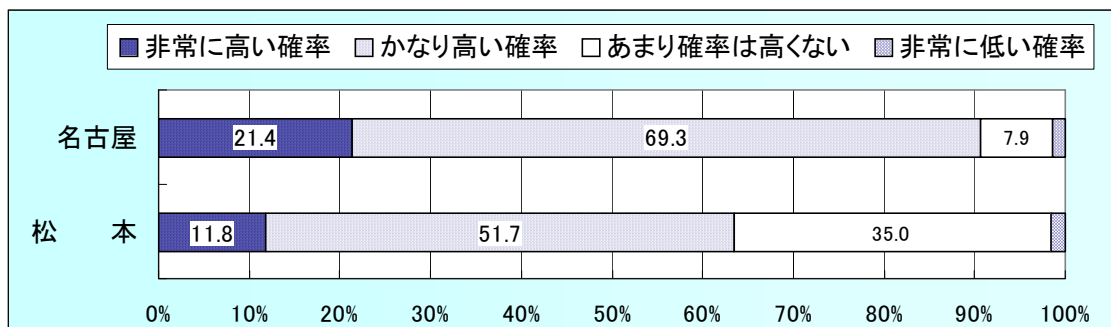


図6 発表された発生確率の評価

(数値は%)

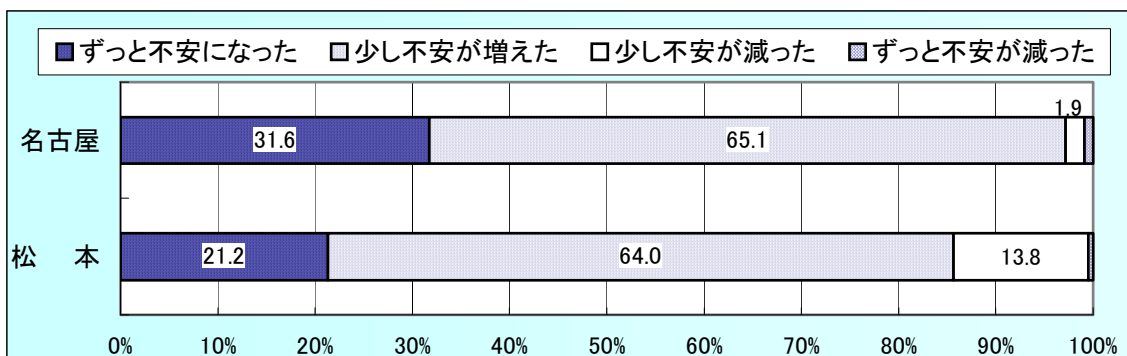


図7 政府発表後の不安度

3) 確率表現の評価

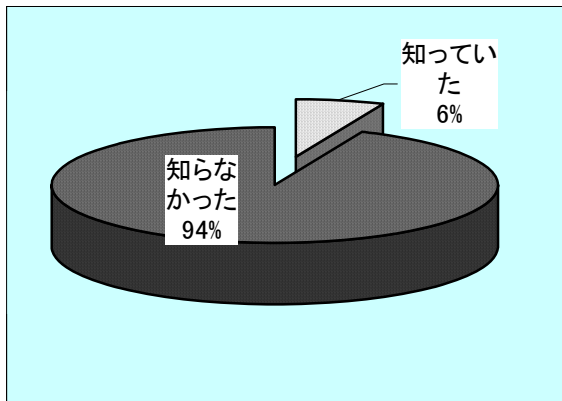


図8 確率の意味

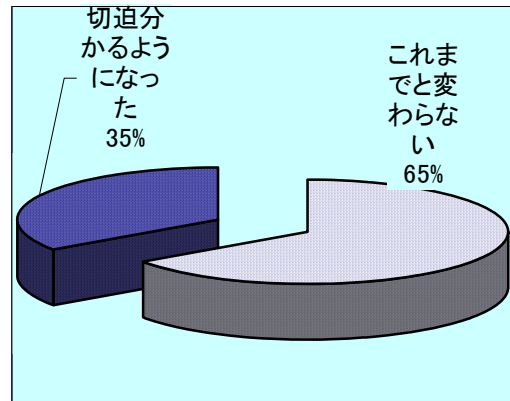


図9 補足説明の効果

表1 確率表現への意見

	確率はよく わからない	対策の必要 を実感	30年は 長すぎる	もっと短い 期間で	建て替え時 に耐震化	取り組む 必要はない
	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋	名古屋
賛成	21.9	43.3	12.6	60.5	13.5	3.3
やや賛成	41.9	50.2	39.5	33.5	27.4	7.0
やや反対	20.5	5.1	27.4	4.2	40.0	32.6
反対	15.8	1.4	20.5	1.9	19.1	57.2
	松本	松本	松本	松本	松本	松本
賛成	27.6	40.4	14.8	52.2	10.3	2.5
やや賛成	45.3	46.3	38.4	39.9	36.9	10.8
やや反対	16.7	10.3	36.5	3.9	36.5	33.5
反対	10.3	3.0	10.3	3.4	16.3	53.2

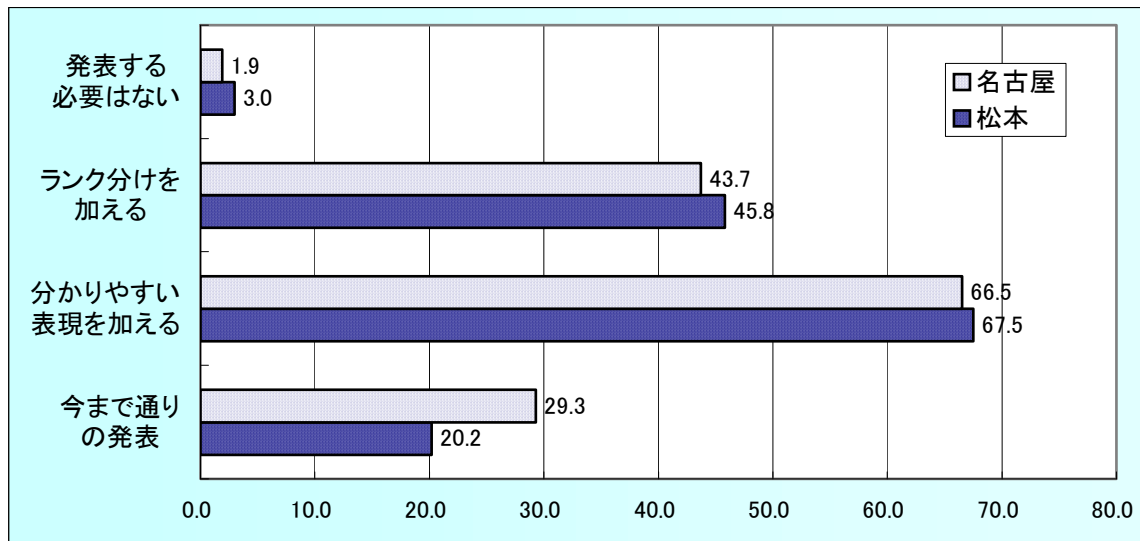


図 10 評価結果に求められる情報

4) 地震動予測地図についての印象

① 「確率論的地震動予測地図」

表 2.地震動予測地図見たことのある割合率

	確率論的地震動予測地図	震源断層を特定した地震動予測地図
名古屋	38.1%	—
松本	25.1%	21.2%

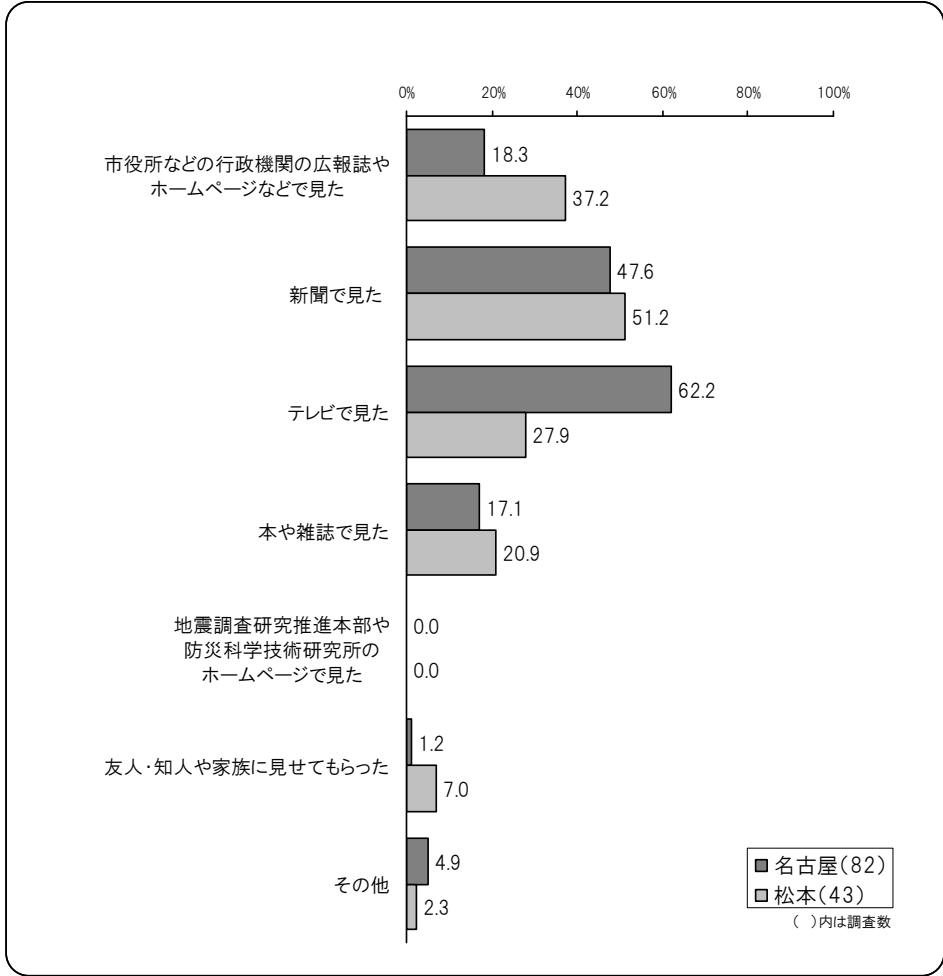


図 11 「確率論的地震動予測地図」を見た方法

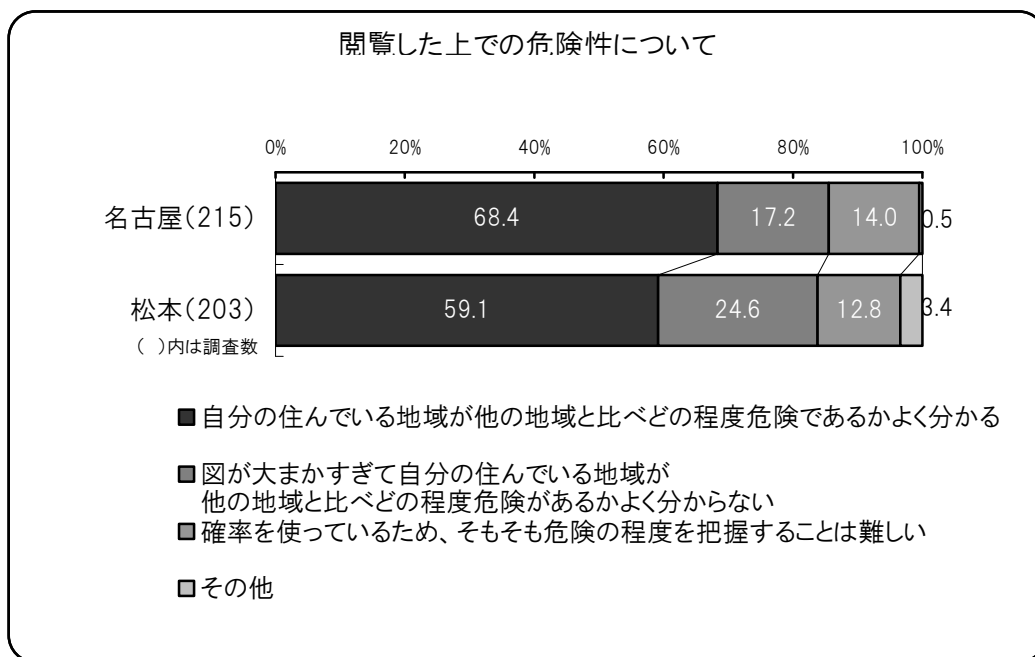


図 13 確率論的地震動予測地図を見た上での危険性の認識について

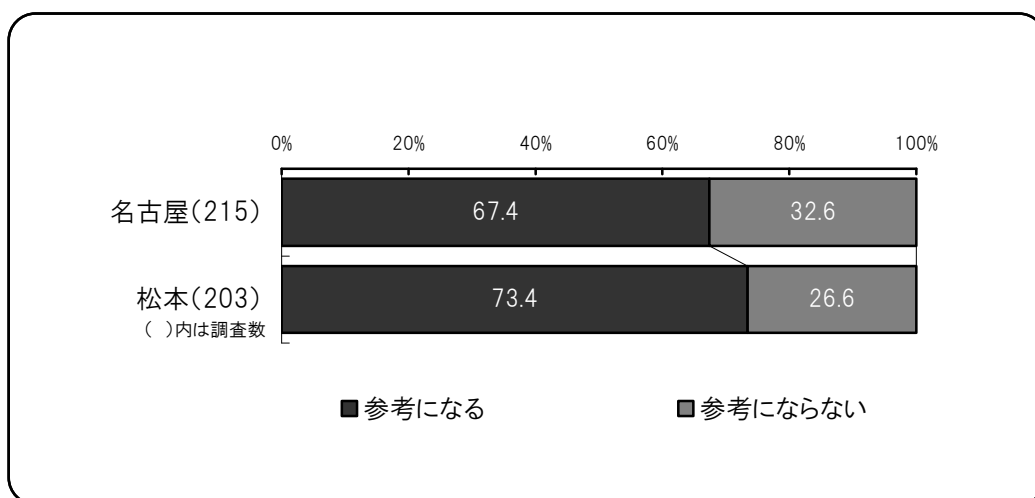


図 14 確率論的地震動予測地図を見た上での防災対策への参考度について

②「震源断層を特定した地震動予測地図」

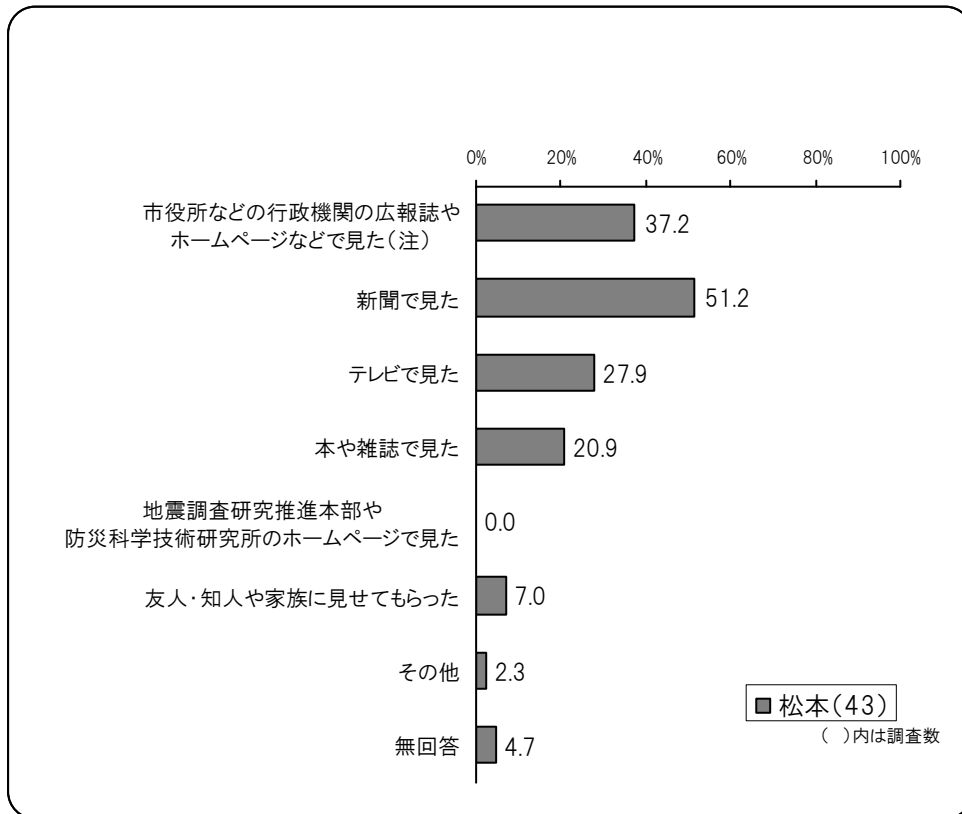


図 15 「震源断層と特定した地震動予測地図 (糸魚川-静岡構造線断層帯) を見た方法

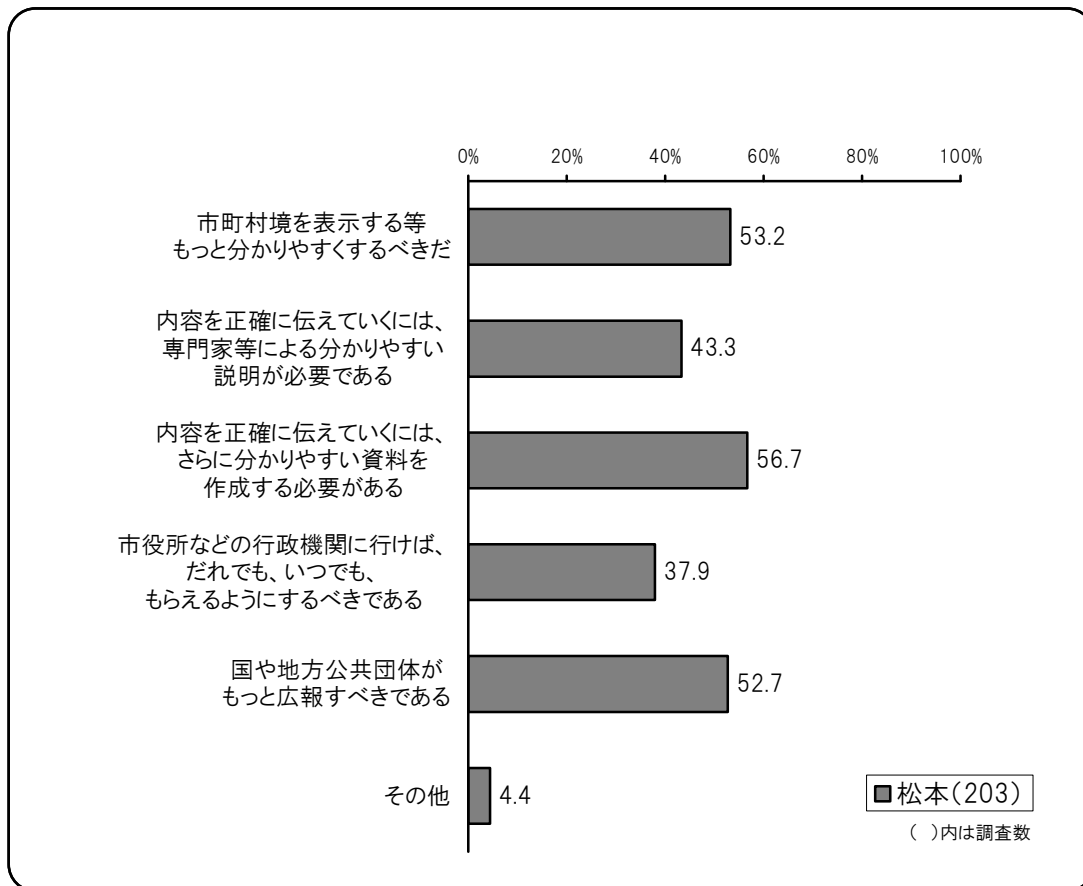


図 16 震源断層を特定した地震動予測地図を防災意識高揚や、防災対策につなげるための方策

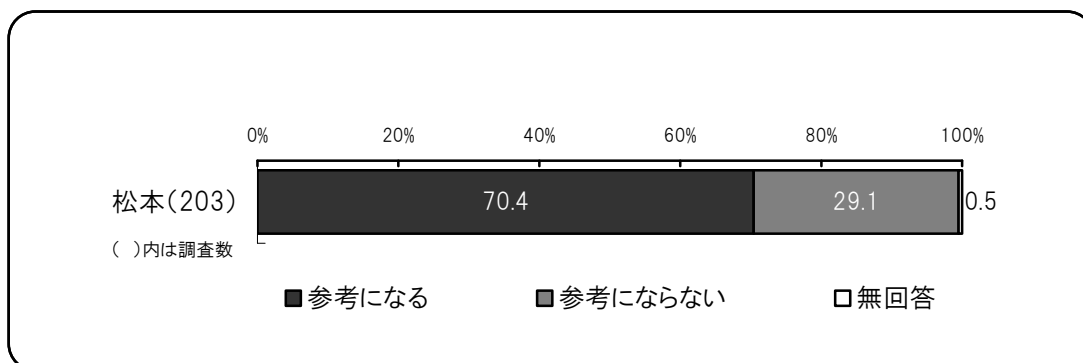


図 17 震源断層を特定した地震動予測地図はわが家の防災対策上参考になるか

5) 長期評価の防災対策への影響度

①防災意識向上に対する影響度

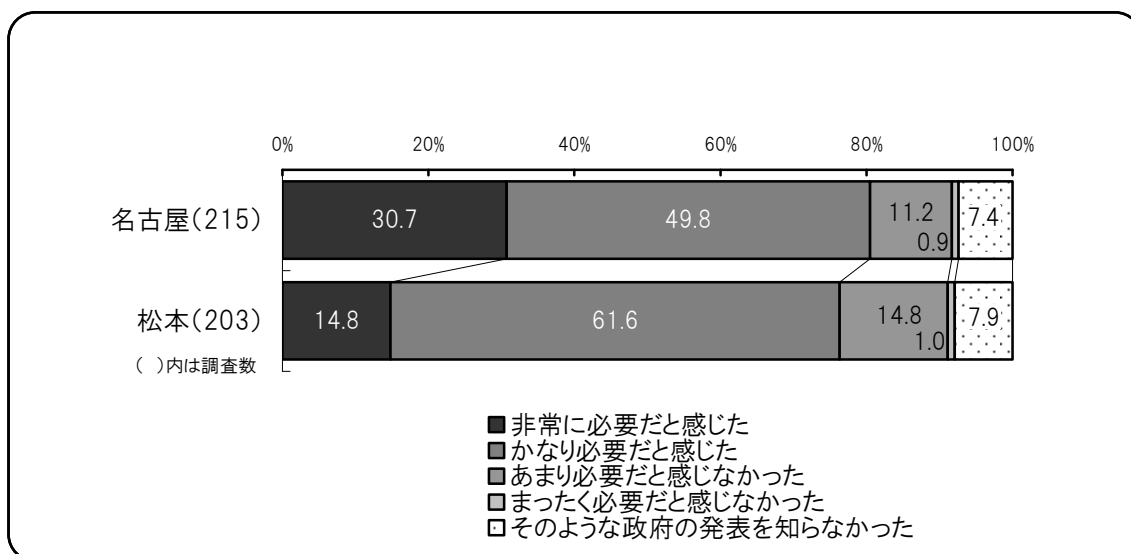


図 18 地震発生確率を聞いての防災対策の必要度